



地域に密着した秋葉町の福祉活動

町内会発足から70年にわたり福祉活動を展開



▲先日の福祉ボランティアの集まりで披露されたコロナ前の多彩な活動の様子

1952年4月に秋葉町内会（現1800世帯）が発足して70年になります。福祉活動にも積極的で高齢者宅の草取り（コロナ前）、町内会の「敬老会」「サロン秋葉」「川上小、秋葉小見守りパトロール」から地区社協の「ひまわり」「若葉会」「男の料理教室」などのサポートまで地域に密着した多彩な活動を続けてきました。

半世紀前からつづく福祉活動

町内会ができた当時を知るメンバーのお話から、当時から続く地域に密着した福祉活動の一端がうかがえます。「ここへお嫁に来て60年以上になりますが、そのころから町内会があり、老人会をはじめ福祉活動をいろいろやっていて、清掃もさかんで、いつも道路が綺麗でした。」（伊藤美穂子さん） 町内会ができた頃には民生委員制度も始まっていて「父が民生委員をはじめ福祉活動の役職をやっていました。当時は家庭のことなどまで相談にのっていました。その後私もいろんな役をやらせていただき、戸塚区社協のボランティア活動にも参加しました。亡くなった主人が町内会の役員をやっていたころは裏方にまわりましたが、見守りパトロールなどには参加していました。」（鎌田サト子さん）



保育園へこいのぼり 小学一年生と「むかしあそび」「ひまわり」参加者と共に 新一年生へ「こころん」

長く続いている秘訣 得意なことを少しずつ 無理はしない

ボランティアグループを長年リードされてきた元福祉部長の伊藤美穂子さんによると、長く続いた秘訣は決して無理はせず得意なことをできる範囲でできる時間だけ参加いただくことという。このあたり、だれにでも気軽に声をかける伊藤リーダーの人柄もおおいに貢献していると思われる。「みんながついてきてくれるのが一番のやりがいでした。私が出た頃には役職は3人くらいで、土曜日に町内会館を貸してもらって活動していました。その後仕事が終わった方などに声を掛け次第に増えていき、8人がずっと続きました。」

良い経験になりました

メンバーのみなさんにうかがうと、伊藤美穂子さんから「気軽に」声をかけられて参加された方も多い。「町内会の班長が終わり、家庭防災員を10年、部長も6年くらいやった後、福祉部に誘われて20年以上になります。秋葉町に捧げた人生です。これまでいろいろありました。

「男の料理教室」のお手伝いなども良い思い出です。」（小塚洋子さん）「私も20年以上になります。子どもが大きくなって少しお勤めしていましたが、お勤めが終わったとき誘われました。近所のことは何も知らなくて、町内会なども知りませんでしたが、誘われて福祉部に入ったことがとても良い経験になりました」（佐藤信子さん）佐藤さんは和裁の指導や、お料理上手で、調理場でも活躍いただいていた。「私も、町内会の役職が終わり誘われて、20何年か経ちます。みんな何でもできて、みんな仲良く。できなければできないでお断りできるのもいいですね。活動の合間の（ポーラ化粧品や大倉陶園工場見学の）研修会や鎌倉散策なども思い出に残っています。」（中野輝美さん）



おいしい「ひまわり」の料理

参加者から毎回好評をいただいていたのが、ふれあいサロンひまわりの美味しく心のこもった料理（=写真右）

毎回限られた予算と期間とは信じられないほど豪華なものができるようになっていました。（コロナ前）

買い出しにはじまり、限られた時間で仕上げる手際の良さ、チームワークの良さ、調理場の雰囲気など素晴らしいものがありました。

ときには近隣の農園からの季節の野菜の差し入れも届きました。



福祉部OB会

高齢化がすすむメンバー再結集の動きもあります。「人生ここまで来て、皆さんで笑って話ができる。これは大事なことだと思います。健康につながるというのが福祉。まだまだお話ができて足が動けば、なにか具合が悪い人がいればお電話くらいはしてあげられる」「町内会から福祉部のOB会を提案いただき、大体元気な人ばかりなので何かのお手伝いまたしてあげられるかな。疲れることはできないけれど、お話相手とかなら。まだまだ元気だから。」（伊藤美穂子さん）と前向き。

助け合う笑顔の秋葉

秋葉町福祉部は多くのボランティアの皆様を支えられて活動してきました。先日「新しい福祉部」を紹介する集まり（=写真右）があり、これまでのふり返りとともに、最近始めた福祉施設への音楽活動なども紹介されました。

このボランティアグループが近く区社協から社会福祉功労者表彰されることになり、有賀 勉 町内会長と仲里祐子 福祉部長は「助け合う笑顔の秋葉」と名付けました。





これからの催しご案内



「助け合う笑顔の秋葉」が区社会福祉大会で表彰

戸塚区社会福祉協議会では令和4年度戸塚区社会福祉大会・とつかハートプラン活動発表会を開催します。長年の福祉活動が認められ秋葉町福祉部のボランティアグループ「助け合う笑顔の秋葉」が表彰される予定です。

日時：令和4年11月12日（土）13：30～16：30（開場：13：00）

会場：戸塚公会堂

第1部 戸塚区社会福祉大会（令和4年度「社会福祉功労者表彰」ほか）

第2部 とつかハートプラン活動発表会

申込不要、参加費無料です。お気軽にご来場ください。



ふれあいサロン「ひまわり」

対象者：秋葉町、前田町にお住まいの方ならどなたでも歓迎

どなたでも参加できるふれあいサロンです。講師をお迎えするなどしてゲーム、手工芸、講演会、体操などを行っています。コロナ禍で中止が続いていましたが感染対策を徹底して再開しています。

事前申込不要ですので直接会場へお越し下さい。参加費 300 円+催しにより材料費等実費。当面はお食事の提供に代え茶菓をお持ち帰りいただきます。

※新型コロナウイルス感染状況により変更・中止の場合は町内会・自治会の掲示板等でお知らせします。

開催日時（曜）時間	開催場所	主な催し(予定)
11月18日（金）10:00	秋葉町町内会館	話題の「ポッチャ」を楽しもう
12月16日（金）10:00	前田町町内会館	干支「うさぎ」の根付け作成
1月20日（金）10:00	秋葉町町内会館	正月にちなんだ遊び
2月17日（金）10:00	前田町町内会館	折り紙でひなまつり



各回の催しは変更されることがあります。3月は開催しません。

子育て支援サークル「ぶらんこ」

対象者：秋葉町、前田町にお住まいの1歳から入園前のお子様と保護者

子育てサークル「ぶらんこ」は、川上地区主任児童委員が実施し、民生・児童委員やボランティアがお手伝いして、お子様と楽しい時間が持てるよう毎月開催しています。

開催日程は町内会・自治会の掲示板、Amebaのブログで確認ください。（写真は同ブログより）

※新型コロナウイルス感染防止のため事前申込みが必要

中止・変更等は町内会・自治会の掲示板でお知らせします。

連絡先：主任児童委員・手塚睦子，中村紀子 ご連絡・ご予約はメールで。

kawakamichiku_shunin0815@yahoo.co.jp



メール



ブログ

ケアプラザの「GoGo 健康講座」が秋葉町に出張

横浜市東戸塚地域ケアプラザでは、いつまでも元気にお過ごし頂くための「からだメンテナンス教室」を秋葉町内会館で出張開講します。開催時間は毎回午前 10:00・11:30 です。対象は概ね 65 歳以上の方で参加費は無料です。マスク、飲み物、上履き、筆記用具、タオルをご持参ください。

お申込み・お問い合わせは：横浜市東戸塚地域ケアプラザ (045) 826-0925 まで。

開催日	内容	講師
11月7日(月)	元気の秘訣は食べること！ いつまでも美味しく食べよう	石川歯科医院 院長・石川茂樹先生
11月28日(月)	フレイルって何?? 運動習慣とフレイル予防	西横浜国際総合病院リハビリテーション部
12月5日(月)	メタボ予防よりフレイル予防? いつもの食事を見直そう	戸塚区ヘルスマイト
12月19日(月)	認知症の発症リスクを減らす コグニサイズを体験しよう	健康支援センターTMGFit 関直哉先生

男の料理教室再開！防災備蓄の知識も学ぼう

秋葉町、前田町にお住まいの男性ならどなたでも大歓迎です

コロナ禍で休止していましたが、会食に代えお持ち帰りとするなど感染対策に留意して再開します。今回は防災備蓄の知識とともに、災害時でもポリ袋でできる食事作りを体験頂きます。お料理の基本とコツを体得頂くとともに、地域の皆様とお知り合いになれる場としても好評をいただいています。秋葉町、前田町にお住まいの男性の方ならどなたでも大歓迎です!! お申込みは15日(火曜)午前迄に下記へ。(確認のメール・お電話を差し上げます)

- ・日時：11月19日(土曜) 10:00～12:00
- ・場所：秋葉町町内会館 (戸塚区秋葉町 271)
- ・参加費：400円 (材料費等含む)
- ・定員：20名 (先着順)
- ・持参品：エプロン、手ぬぐい、マスク



男の料理教室 参加申込

【1】 「男の料理教室」を標題とし、氏名、住所、電話番号 を
kawakamishakyo@gmail.com へメール QR コード:



【2】 ここへ記入し、秋葉町または前田町の町内会館のポストへ
(「男の料理教室」と表記した封筒に入れて投函ください)

氏名： _____ 住所： _____ 町 _____ 電話： _____

メールアドレス： _____ @ _____

個人情報は目的外には使いません。万一に備え行事保険に加入します。

バックナンバーは戸塚区社協ホームページ または kawakamichiku.com 参照
作成費の一部に赤い羽根共同募金からの助成金が使われています。



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金